

Win XP を Win 7 にアップグレード

JJ1SXA/池

米国時間 4 月 8 日でサポート終了(後でサポート再開)の XP、10 年使った、SXB のノートパソコンは、8.1 のノートパソコンに買い換えましたが、Vista の時代に購入した、XP のデスクトップは、Office ソフト無し、モニター無しの本体のみで、安価に手に入れた物ながら、スペックは比較的高い物なので、勿体無いので、アップグレードして使うこととしていたが、難しそうだな、面倒そうだなと悩んで、もたもたしている内にあっという間に時間は経過、ぎりぎり、4 月 7 日に、マイクロソフトが提供する「Windows 7 Upgrade Advisor」をダウンロード・インストール・実行でアップグレードの可否を確認できた。

スペックは問題無し、後、Service Pack2 以上が入っていること、ドライブは FAT32 では無く NTFS フォーマットを要求しているので、Service Pack3 が入っていることと、C ドライブが NTFS でフォーマットされていることも確認。

Win7 の正規版ソフトは品切れ、DSP 版を購入、市販されている、いわゆる「引越ソフト」なるものが付属していましたが、これを使う必要は無く、マイクロソフトが無料で提供する「転送ツール」で十分でした。

正規版と DSP 版ですが、内容は変わらず、簡単に言うと、マイクロソフトのサポートが、無償か有償かの違いだけのようで、値段は DSP 版の方が安い。

いよいよ、Window7 のインストールですが、その前に、記憶装置として外付けハードディスクをつなぎ、XP の PC はネットにつなげないので、別の Win 7 の PC でダウンロードした転送ツールを XP の方へ移してインストール、ツールを実行してファイルと設定を保存、プログラムは転送できないとのことなので、プログラムに入っているインストールしたものや、ダウンロードしたのももバックアップ、いよいよ、Window7 のインストールです。

C ドライブに新規インストール、後は指示に従い作業を進め、時間はかかりましたが、インストール終了、保存しておいた設定とファイルを戻し、LAN ケーブルを刺して、いよいよ 7 マシン稼動、やれやれと思ったら、今度は更新ファイルのインストール、勿論自動ですが、これも結構時間がかかりました、そして IE11 へ強制バージョンアップされて不具合ありで、IE9 へダウングレードし、強制バージョンアップをブロック、一寸手古摺りましたが、何とか解決、そんなこんなですが、今は、7 マシンとして快適に動いています、こんなことなら、サポート切れになる前にさっさと取り組めば良かったと反省、かかった費用はソフトの購入費 13K 円(送料・代引き手数料等全て込み)、新品パソコンはいくら格安の物でも、こんな金額では買えない、全て終わっての感想、「ああ良かった！」の一言、それにしても、「ああ疲れた～」も実感。(笑)